

報告1 台風26号の被害状況等について

被害をもたらした台風26号
278ミリの雨量を記録

がけ崩れ 25件

床上・床下浸水 26件

路面冠水 11件

など...



冠水した町道印旛線



中川の洪水対策 -改めて調節池の必要性を認識-

10月16日午前6時頃をピークに24時間雨量は、佐倉市の印旛土木事務所地先で278ミリを記録しました。

町では、警戒配備体制を敷いて対応にあたりました。

トケ崎・中川地先 中川の越水は免れるも浸水

被害状況ですが、中川流域のトケ崎地先は、午前2時過ぎのパトロール時点では、中川の水位は高いものの氾濫することはありませんでしたが、その後の午前5時頃からの激しい雨により周辺からの雨水が低地に滞水し、設置してある排水ポンプでは処理しきれない状況となり、家屋の床下浸水が14件発生しました。また、中川地域につきましても、周辺からの雨水が中川に排水しきれない状況となったことから、家屋の床上浸水が1件、床下浸水が6件発生しました。

トケ崎地先及び中川地先は、中川護岸の嵩上げ^{かさあ}により川からの越水はありませんでしたが、周辺地域の住宅開発等により不浸透域が増大し、中川へ流入する雨水の量や流域面積の拡大等による流量の増加も被害要因となっているものと考えます。

また、京成橋梁から下流の県道宗吾酒々井線間では、中川が溢水しました。さらに、岩橋保育園付近では、中川が氾濫し周辺道路が冠水しましたが、これは中川の上流域からの流入によるもので、改めて調節池の必要性を感じたところです。

被害が甚大である床上浸水の被害の軽減方策についても、今後検討してまいります。



中川の氾濫により冠水した岩橋保育園前町道

高崎川も氾濫・下岩橋では住家の全壊1件

高崎川は、町内の上流から下流まで広範囲の流域で氾濫し、水田の冠水による被害と本佐倉新堤地先で1世帯の床上浸水が発生しました。

その他、柏木地先のアパートが1棟、上岩橋地先では1世帯の床上浸水が発生しました。

また、がけ崩れは、下岩橋で住家の全壊が1件発生し、負傷者が1名でるなど大きな被害となりました。その他、家屋に大きな被害はありませんでしたが町内で20件以上のが

け崩れが発生しました。

道路・学校・下水道施設などへも被害

道路被害は、道路冠水が町道印旛線をはじめ11か所、倒竹木による通行障害が12か所、道路の法面の崩落等が23か所発生しました。町道印旛線については、宗吾機場の非常用排水ポンプ（水量毎秒11.9m³）が2台フル運転されましたが、印旛沼の水位が計画水位に近づいたため排水量調整に入らざるを得ず、このため、16日午前7時15分から19日午前5時30分までの3日間にわたり通行止めとなりました。

学校施設は、酒々井小学校の斜面が2か所及び大室台小学校グラウンド前面の斜面が崩落しました。酒々井中学校では、木工室が雨漏りをしました。

下水道施設は、町内3か所に設置ある中継ポンプ場で高水位警報発令状況になり、雨水が汚水管に入り込み、汚水が流れない状況になってしまった箇所がありました。また、伊籾調整池では法面の崩落が発生しました。

いずれも応急対策を実施しております。

今後も、災害に強いまちづくり及び減災に繋がるまちづくりを推進してまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願いするとともに、町民の皆様一人ひとりが常日頃から防災意識を持っていただくよう周知に努めます。



消防ポンプで排水作業にあたる消防団の皆さん（上岩橋地先）